

令和 7 年 6 月 2 4 日
県 土 整 備 部 港 湾 課
0 4 3 - 2 2 3 - 3 8 3 8

千葉港におけるアカカミアリの確認について

令和 7 年 6 月 1 6 日、千葉港千葉中央地区 千葉港コンテナターミナルに運び込まれたコンテナからアリが発見されました。この個体について、専門家による種の同定を行った結果、要緊急対処特定外来生物であるアカカミアリと確認されましたのでお知らせします。

なお、刺傷等の人的被害は生じていません。

県では、環境省と協力してモニタリングと殺虫餌（ベイト剤）の設置による防除を継続するとともに、千葉港保安委員会等を通じて港湾関係者に対し注意喚起をしていきます。

1 経緯

- 6 月 1 日（日） ・ 千葉港千葉中央ふ頭に船舶が入港し、コンテナを陸揚げの上、同ターミナル内に搬入。コンテナは中国より出航したもの。
- 6 月 1 6 日（月） ・ 事業者がコンテナを開封し、コンテナ外に積み荷を取出し。
・ コンテナ外にて、積み荷を固定していた木材に、多数のアリと卵・幼虫又はサナギが付着していることを事業者が確認。
・ コンテナ外にこぼれ落ちた個体に対し、直ちに殺虫処理を実施。コンテナは、内部に殺虫剤（スプレー剤）を噴霧した後封鎖。
・ 県生物多様性センターから環境省を通じて専門家に種の同定を依頼。
・ コンテナ周辺に殺虫餌（ベイト剤）を設置。
- 6 月 1 7 日（火） ・ 専門家による種の同定を行った結果、アカカミアリと確認。
・ 環境省関東地方環境事務所、県、千葉市が敷地の確認調査を実施し、適正に対策されていることを確認。

2 今回確認されたアリについて

確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約 1 0 0 個体、卵・幼虫又はサナギ約 3 0 個です。

3 今後の対応について

県では、環境省と協力して目視や粘着トラップによるモニタリングと殺虫餌（ベイト剤）の設置による防除を継続するとともに、港湾関係者に対し、千葉港保安委員会等を通じて注意喚起を行います。

4 その他

本件に関する現場での取材は、港湾関係者の事業活動等へ影響を及ぼすおそれがあることから厳に慎むようお願いします。

○今回確認されたアカカミアリ



写真：千葉県生物多様性センター

○今回アカカミアリが発見された場所



出典：ちば情報マップ

(参考) アカカミアリについて〔環境省資料より抜粋〕

1. 生態について

- 原産地：アメリカ合衆国南部～中米
- 日本での生息状況：硫黄島に定着。その他沖縄県等で確認記録がある。
- 亜熱帯地域の裸地や草地などの開けた環境に生息し、土中に営巣する。雑食性で、甘露や植物の種などを餌とする。水に浮んで集団で移動するなど拡散の能力が高い。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることが知られている。硫黄島においては他のアリ類を駆逐し最優占種となっている。
- (2) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いといわれている。

○要緊急対処特定外来生物ヒアリ類一般に関する問合せは、環境生活部自然保護課生物多様性センターへお願いします。(TEL：043-265-3601)